

本作品は、針葉樹の間伐材や小径木、端材を活用し、板材として製材後、圧着して大きなブロック(または複数パーツ)を作り出す構想である。その後、CNCルーター等を用いた削り出し加工を想定し、彫刻的なアプローチにより曲面を表現する。最終的には手加工で細部を仕上げ、柔らかさが特徴的な三次元形状にまとめ上げる。見る方向によって印象が変わる造形性を持ち、家具であると同時にオブジェ的な性格を備えた椅子となる。

Hug Me Chair

Hug Me Chair は、まるでこちらに手を伸ばすようなフォルムを持ち、人をやさしく迎え入れる「抱擁」をテーマにした椅子です。

針葉樹特有の柔らかな質感を生かし、滑らかな曲面に よって座る人の身体に馴染み、安心感のある触感をもた らします。彫刻的に削り出された有機的な形態は、見る 角度によってさまざまな表情を見せ、家具でありながら オブジェとしての存在感を放ちます。

構造上、素材には、針葉樹の間伐材や小径木、端材といった循環可能な資源の活用を想定しています。

ただ座るための道具ではなく、触れ、眺めることで心を 包み込む体験を生み出す―― Hug Me Chair はそんな椅子です。





